

第124回神戸大学経営協議会議事要録

日 時 令和6年9月20日（金） 13:30～14:47

場 所 神戸大学本部 大会議室 及び WEB（Teams 使用）

出席者 藤澤議長（学長）、
角元委員、齊藤委員、高梨委員、伯井委員、平尾委員、宮田委員、山谷
委員、木戸委員、玉置委員、河端委員、奥村委員、松尾委員、森山委員、
柿原委員

（オブザーバー）濱田監事、玉岡副学長、眞庭副学長、大川副学長、福本副学長、
梅屋国際文化科学研究科長、北野経済経営研究所長、白井農学研究
科長、村上医学研究科長

欠席者 齋藤委員、坂井委員、久元委員、丸谷委員

議事要録について

第123回経営協議会の議事要録について、特段の意見はなく、役員会
として確認の上、神戸大学のホームページに公表する旨説明があった。

審議事項 [委員からの主な意見等（○：意見・質問）]

- 1 国立大学法人ガバナンス・コードにかかる適合状況について
国立大学法人ガバナンス・コードにかかる適合状況等に関する報告書案につ
いて説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。
- 2 令和6年人事院勧告について
令和6年の人事院勧告の概要及び本学における対応案について説明があり、
審議の結果、原案のとおり承認した。

○ 給与のベースアップが行われる一方で地域手当の引き下げが行われ
ては納得感が得られないのではないか。

→ 本学における給与改定は原則人事院勧告に準拠するが、地域手当の
引き下げについては不利益変更となるため、慎重に検討していく。
- 3 役員の退職手当（業績勘案率）について
令和6年8月に退任した監事について、平成28年4月から令和6年8月ま
での8年5月間の監事としての業績を踏まえ、監事在職期間における退職手当
の業績勘案率について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

報告事項

- 1 2023（令和5）年度第4四半期神戸大学資金運用実績報告について
2023（令和5）年度第4四半期神戸大学資金運用実績について報告があった。
- 2 令和7年度概算要求の概要について
令和7年度の概算要求の概要について報告があった。
- 3 令和5事業年度「成果を中心とする実績状況に基づく配分」におけるグループ⑤7大学 財務諸表分析資料について
第4期中期目標期間の「成果を中心とする実績状況に基づく配分」においてグループ⑤にあたる7大学の財務諸表分析について報告があった。
- 4 令和5事業年度財務諸表の承認について
令和5事業年度の財務諸表について、文部科学大臣の承認を受けた旨報告があった。
- 5 令和6年度科学技術人材育成補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ」の採択について
令和6年度科学技術人材育成補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ」が採択されたことについて報告があった。
 - 承継内自然科学系女性教授を4倍にすると記載があるが、現在当該教授は何人で、目標達成した場合は何人になるのか。
 - 生命・医学系を除く自然科学系では現在4名おり、目標を達成した場合は16名となる。
 - 補助事業期間終了後の2030年度以降はどのように運営していかれるのか。
 - 間接経費で運営していく。
 - 様々な行動計画を検討されているようだが、本当にこの計画によって各種女性比率の数値目標達成はできるのか。最も重点的に考えられているのはどの点か。女性比率向上のためには、女性自身の考え方が変わっていかねばならず、意識改革が重要だと考える。
 - 本事業は一つの制度設計であり、女性に活躍してもらうことが一番の目的である。まずは大学の中に女性活躍の場を作り、制度を動かしていくことによって学内教職員の意識改革を促していかねばならない。

○ 女性リーダー育成のためには理系の女子学生の支援が重要だが、神戸大学においてはどのような取り組みを行っているのか。

→ 工学部においては、企業と連携して、入学試験に優秀な成績で合格し入学する女子学生に対して入学支援金を給付する制度を設けている。来年度新設されるシステム情報学部においては、入学者選抜で女子枠を設け、理系の女子学生を増やす取り組みを行っている。また、海事科学部においても新たな取り組みを検討しているところである。

○ 准教授や教授に昇任する時期は、女性が子供を持つ適齢期と重なる。キャリアアップを望むと同時に、子供も持ちたいと考える女性の負担が大きいということを理解していただきたい。

→ 女性のライフイベントや復職支援、業績評価の状況を十分考慮したうえで、当該制度を作っている。

6 環境報告書2024について

環境報告書2024の概要について報告があった。

7 令和6年度「人文・社会科学系ネットワーク型大学院構築事業国際連携型」の選定結果について

令和6年度「人文・社会科学系ネットワーク型大学院構築事業国際連携型」が採択されたことについて報告があった。

◎ 次回は、令和6年11月25日に開催予定。